

令和7年度 第1回 梅坪台地域会議 会議録

■ 日時 令和7年5月13日（火） 午後7時～午後8時15分

■ 場所 梅坪台交流館 2階 大会議室

■ 出席者

<委員>	岩崎 洋平	岩松 初男	川井 圭子（欠席）
	鈴木 重久	鎮西 和也	長江 秀昭
	三岡 英隆	山村 史子	依田 武人

<交流館> 杉山 浩子（梅坪台交流館 館長）

<事務局> 杉浦 智文（地域交流課 課長） 塚田 征弘（地域交流課 副課長）
槌井 功二（地域交流課 担当長） 勝野 一城（地域交流課 主査）

■ 内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
 - ・ 孝母事務所長あいさつ
 - ・ 委員紹介（委嘱状交付）
 - ・ 孝母事務所職員紹介（事務局・交流館長）
- 3 報告・協議事項
 - （1）地区コミュニティ会議関係について（報告）
 - （2）地域課題について（協議）
 - （3）梅坪台地域健康づくり事業について（報告）
- 4 連絡事項
 - （1）令和6年度地域会議スケジュールの確認
 - （2）慶弔連絡について

■ 議事内容（要約）

- 2 あいさつ
 - ・ 鈴木会長あいさつ
皆様のご協力をいただきながら会議を進めていきたいと思いをします。
 - ・ 三岡英隆新任委員あいさつ
地域と学校をつなげる学校共働本部委員をしています。火・木の午前は、梅坪小学校におります。
 - ・ 杉浦孝母事務所長（地域交流課長）から地域振興部から地域活躍部に、地域支援課から地域交流課に組織変更の説明と塚田副課長、槌井担当長、勝野主査の職員紹介
 - ・ 杉山梅坪台交流館長紹介

3 (1) 地区コミュニティ会議関係について (報告)

- ・鈴木会長から以下のとおり報告
地域会議からコミュニティ会議への推薦者は、岩崎委員が企画部会に出席いただいています。
- ・4月13日(日) 全体会・総務会開催
- ・11月2日(日) ふれあいまつり
第2回実行委員会は8月2日から開催予定
- ・令和8年の1月11日(日) 二十歳のつどい
中学から8名の推薦を受けて6月29日から実行委員会を開催予定
- ・6月7日、梅坪台中学校の梅の収穫を浄水中学校の協力を得て販売を予定

3 (2) 地域課題について (協議)

- ・事務局から「令和6年度の地域課題のまとめ」について説明

<主な意見>

■ヒアリングの方法について

- ・今後の進め方について3班にグループ分けし、①自治区、②地区コミュニティ会議、③地域学校共働本部への聞き取りをしてはどうかと事務局から提案。
- ・4自治区全てにヒアリングするのか、若しくは子ども会の運営を担っている自治区に絞ってはどうか。
- ・自治区内でも3役に聞くのか、青少年体育部会の評議員に聞くのか。
- ・共働本部でいえば、共働本部の人員だけでなく、校長、教頭まで聞き取りの必要があるか。
- ・各団体それぞれヒアリングするのではなく、まとめてヒアリングしたほうが効果的ではないか。
- ・最初は団体ごとに個別にヒアリングして、組織・体制を作ることになれば全体でヒアリングするという事でどうか。
- ・ヒアリング前に地域会議としての考え方をきちんと説明する必要があると思う。
- ・コミュニティ会議の青少年部会について言えば、急に聞かれてもそこに問題意識がないので、地域会議はこう考えているという説明がないと聞かれても困ってしまう。

■子ども会の運営の課題について

- ・どの子ども学校には行くのでどの保護者も安全に子ども学校に行かせたいから通学団には参加するが、子ども会は、自主事業なので入らない家庭も多い。
- ・子ども会に参加するのはいいが、運営するとなると負担が大きい点がクローズアップされ、子ども会の存続や活動の継続が難しくなっている状況がある。
- ・京町自治区では、新入生歓迎会の実施に20人ぐらいのボランティアがいる。連絡員はやってくれるが、会議の出席などをお願いすると辞められてしまう。

■子ども会の支援策について

- ・梅坪台地域としてどう考えていくかがテーマで、今、やれている子ども会も継続が課題。地域として全ての住民がどうかかわっていくのか、その障壁は何か、負担をどう減らしていくのか考えていく必要がある。
- ・個々の子ども会で、別々に新入生歓迎会など実施しなくても梅坪の全員対象のイベントとしての実施を提案すれば、その分だけでも現状の役員さんの負担は減る。節目節目のイベントを4自治区のチームでサポートしてはどうか。規模的には、自治区単位がいいのではないかと。本当は、そうしたことをサポートできる人を育成するのか、自治区で選出できるのか。
- ・地域の祭りとかは、神社も違うので自治区単位で別々にやるのがいいかと思う。
- ・梅坪地区には、特別な事情を抱えた子どもや家庭があるため配慮が必要。

■子ども会の支援体制について

- ・体制の話では、自治区の体制を考えたときにコミュニティでも人材が難しい。組織を変えるのか、青少年部会で考えるのか組織図を変えることができるのか。
- ・自治区の事務員の報酬がいくらかは、わからないが、そういう人員の費用を出して配置するというとも考えられる。
- ・自治区、中学校区から作った組織でないと地域外の見ず知らずの人ではだめだと思う。自治区なりコミュニティ会議なり既存の組織に頼るのがいいかと思う。イベント業者ではだめ。地域が子どもと一緒にやっていないといけない。
- ・信頼性のある所属の認められた人を子ども会支援のサポーターとして各自治区に1名ずつ置けるといいと思う。お母さん方が安心して来ていただけるようにしたい。
- ・ただ、どこの自治区も人がいない。今度、民生委員の改選もあるが8月まで探さないといけませんが、どこの自治区も人選に苦戦している。役員やってくださいと言っても本当に無い。行政には、候補者を示してもらいたい。

■提言の時期について

- ・昨年の第3回の会議で令和7年4月から提言に向けた検討、8月に提言書の提出とあったがどうか。
- ・事務局：昨年のお示ししたのは参考例で、来年度の予算を伴うものであれば、そのタイミングになるが、提言内容によってはこだわらなくてもよい。皆さんの委員任期を踏まえて今年度末までに形になるとよいと思う。

<決定事項と次回に向けた課題について>

- ・ヒアリング内容を明確化し、聞き取りの目的を整理する
- ・その前段として地域会議のこれまでの経過と方針を示した上で、関係団体への説明を事前に行い、子ども会の支援（存続）策として、地域との連携を強化する方向性を検討
- ・次回の会議では、ヒアリング内容の詰めと、区長会・コミュニティ会議に向けた事前説明の

準備を進める

3 (3) 梅坪台地域健康づくり事業について (報告)

■ スタンプラリー・健康づくり事業について

- ・ 梅坪台地域健康づくり事業として、梅坪台ヘルスサポートリーダーと市が主体となって実施し、明日、アレルギー講和と相談会を実施
- ・ 梅坪台交流館、コミュニティ会議においても健康事業を行っているため、一緒にスタンプラリーをしてはどうか
- ・ 梅坪台地域で一体的に進めれば相乗効果も期待できる

4 (1) 令和7年度地域会議スケジュールの確認 (事務局から説明)

(2) 慶弔連絡について (資料を確認)

■ 今後の予定

令和7年度第2回梅坪台地域会議

6月10日(火) 午後7時 ~ 梅坪台交流館大会議室にて